

2016年度日韓文化交流基金講演会
「日韓の違いと近似性」シリーズ第一回
韓国における二つの欲望の行方
—自尊か実利か—

講師：鄭大均さん（首都大学東京 名誉教授）

日時：2016年6月27日（月）18：30～20：30（開場18：00）

会場：公益財団法人日韓文化交流基金 会議室（参加無料・要申込）

※講演終了後、簡単な懇談会を予定しています。

第二次大戦後に独立した「新興国」に生きる人々には、二つの欲望に同時に駆り立てられる状況があるとクリスフォード・ギアツがかつて述べていた。

二つの欲望とは何か。一方が国際社会で重んじられる存在、名のある存在になりたいという欲望であるとしたら、他方は有能で活力ある現代国家を建設したいという欲望である。両者の間に良い緊張関係が維持されるとき、国家は発展の推進力を得るが、しかし両者はしばしば対立するもので、それは国家の発展を妨げる最大の障害になるものでもある。80年代までの韓国は、その二つの欲望の間に良い緊張関係が維持された類稀な例であった。

しかしやがてこの国にも変化が訪れる。変化の先駆けとなったのは新興国によく見られる「人心の離反」とはあべこべの「人心の一致」という状況である。これは民族的均質性や言語的均質性を特徴とする国に、「原初的感情」が提唱されたときに何が起きるのかを教えてください。事例ではないだろうか。



【講師紹介】

首都大学東京名誉教授。1948年岩手県生まれ。立教大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校で学ぶ。主要著書・編書『日韓併合期ベストエッセイ集』『増補版 韓国のイメージ：戦後日本人の隣国観』『日本(イルボン)のイメージ』『在日の耐えられない軽さ』『在日韓国人の終焉』『在日：強制連行の神話』『韓国のナショナリズム』など。

■「日韓の違いと近似性」シリーズ 開催予定

第二回 11月28日(月)18:30～20:30
「あなたは本当の「韓国」を知ってる!? 日韓の違いと近似性」
講師：NPO日韓交流祭り協会 事務局長 権鎔大さん

第三回 2017年2月下旬開催予定
「日韓文化の違いと近似性—会議通訳の現場から—」(仮)
講師：日韓会議通訳 長友英子さん

どうぞご期待ください。

■お申込み・お問合せ

6月23日(木)までに、電話、ファクス、電子メールでお申込みください。定員(50名程度)を超えた場合、早めにお申込みを締め切る場合があります。お申込みの際に、

- ①お名前
 - ②ご連絡先(電話番号、メールアドレス)
 - ③ご所属
- をお知らせください。

TEL.03-5472-4323/ FAX.03-5472-4326

E-mail: lecture@jkc.or.jp

担当：鬼海(きかい)・青嶋・大田・中村